

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路管理放射能対策事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	03	02	02	01	56
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	遠藤 茂				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の道路排水施設等	意図	道路排水施設等の放射線量を低減することで、市民の健康被害を未然に防ぐ。
事業内容	・道路排水施設等の清掃により、排出された放射性物質を含んだ汚泥を適正に処理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・福島原発の事故により、除染状況重点調査区域に流山市が指定されたことから、放射線量の低減を図るため、流山市除染実施計画及び環境省「汚染関係ガイドライン」等に基づき、道路排水施設の清掃等を実施した。通学路の除染対応は終了したが、放射能の影響で汚泥処理費は高騰している状況である。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		フレコンバッグの購入	0	0	0	袋	↓↓↓
	汚泥脱水処理	0	0	0	t	↓↓↓	汚泥等回収総重量
	汚泥仮置場	403	403	0	m <sup>2</sup>	↓↓↓	仮置場の借地面積
	道路排水施設等の清掃	4,180	5,895	5,399	m		清掃延長
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	実施している清掃により排出される汚泥を処理している。 ・福島原発の事故の影響で、汚泥処理費が高騰している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	9,745,444	11,318,208	5,481,095				
事業費(b)(円)	9,054,444	10,565,208	4,794,595				
うち一般財源	9,054,444	10,565,208	4,794,595				
職員給与費(c)(円)	691,000	753,000	686,500				
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	・福島原発の事故の影響により、処理費が高騰しているが、清掃により排出される汚泥を適正に処理する。	取組の課題	・汚泥処理費の高騰により、処理量が制限される。 ・汚泥の空間放射線量に注意が必要である。
今年度(H28)に実施した取組	・道路排水施設等から排出された汚泥を適正に処理した。	今後の改善計画	・道路排水施設等の機能を維持するために、清掃により排出された汚泥を処理する。